令和４年７月１３日　議員説明会　資料No.3

JR花巻駅橋上化・東西自由通路整備検討に係る追加調査の結果について

建設部　都市機能整備室

１．調査内容

（１）調査の目的

説明会の際に市民等から「西口トイレの整備」要望や「橋上駅の検討」の必要性、「西口広場整備」「西口駐車場の整備」の意見など西口広場周辺の整備に関する意見、ＪＲ東日本からは通路長さ短縮や駅施設の簡素化などのコスト縮減の提案などがあったことから、半橋上駅案の概略設計の見直しと事業費の再積算、橋上駅案の検討、西口駅前広場の整備方針の検討、自由通路整備に必要となる用地や西口駐車場等候補地の調査を行うことを目的として実施。

（２）調査の内容

①東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査

○調査実施者：JR東日本東北工事事務所
○調査期間：令和３年８月から令和４年６月まで（完了）
○調査費用：13,113,650円（精算額）
○調査内容：半橋上駅案の概略設計の見直しと概算事業費の精査、橋上駅の検討、施工計画の見直し　等

②花巻駅東西駅前広場現況調査等業務

○調査実施者：中央コンサルタンツ㈱
○調査期間：令和３年８月から令和４年３月まで（完了）
○調査費用：8,272,470円（契約額）
○調査内容：東西駅前広場交通量調査、　交通事業者等へのヒアリング、課題の機能分担の整理、西口広場の整備方針の検討、西口駐車場整備の検討等

③土地鑑定評価業務

○調査実施者：大下不動産鑑定・コンサルティング㈱
○調査期間：令和３年12月から令和４年3月まで（完了）
○調査費用：2,035,000円（契約額）
○調査内容：自由通路降下部分となるJR用地を含む１２か所を調査

２．東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

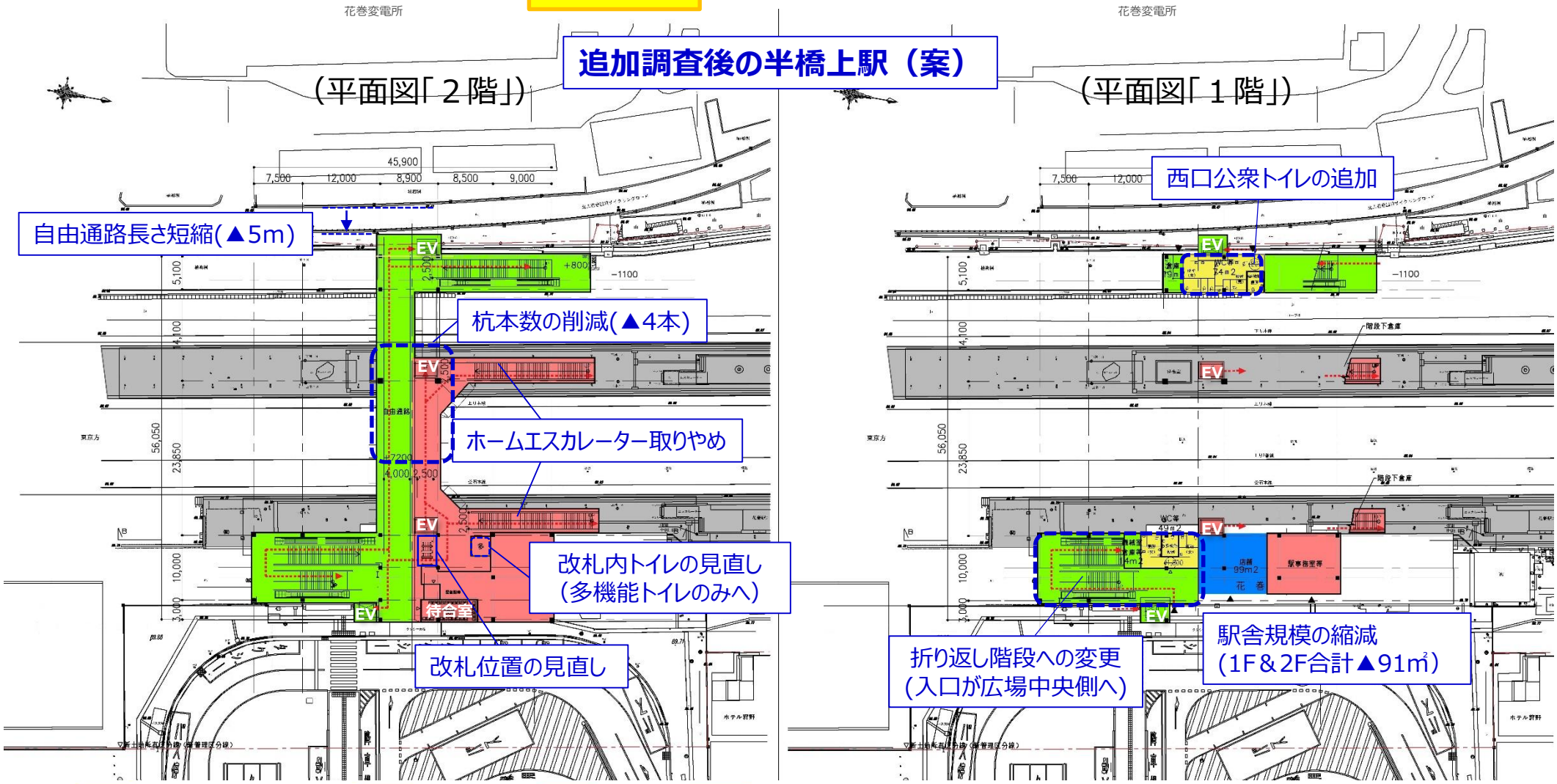
（１）調査結果　整備概要【 **半橋上駅** 】

半橋上駅(案)のイメージパース

※自由通路及び駅舎の外観デザインについては基本設計段階で検討

２．東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

（１）調査結果　整備概要【 半橋上駅 】

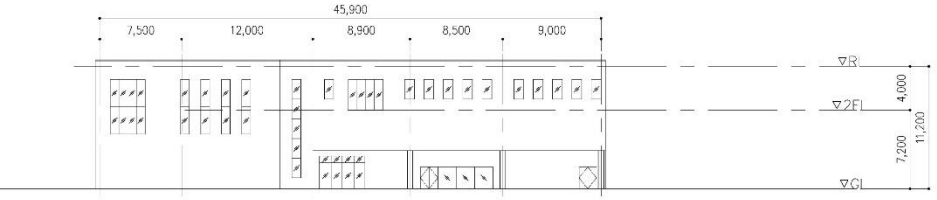


※市の意向により、自由通路東口の階段形状及び自由通路エスカレーター、西口公衆トイレについては今後見直す可能性がある。

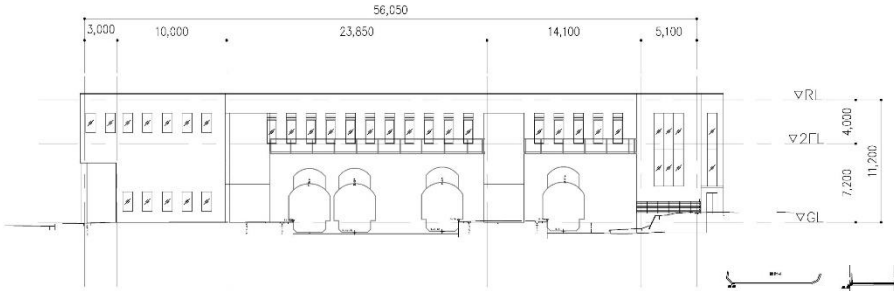
2．東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

（1）調査結果　整備概要【 半橋上駅 】

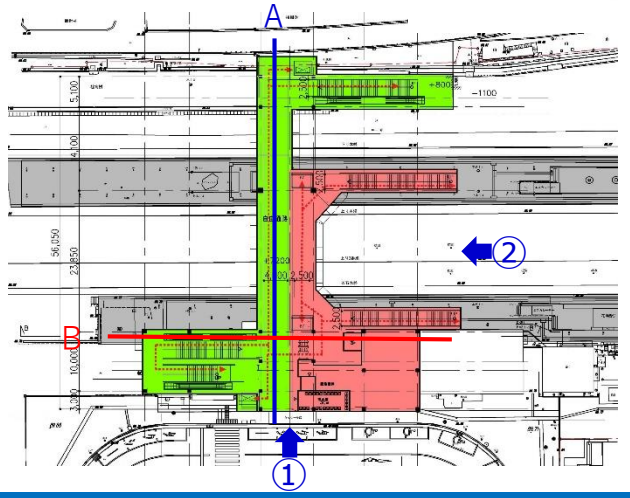
«半橋上駅（案）立面図»



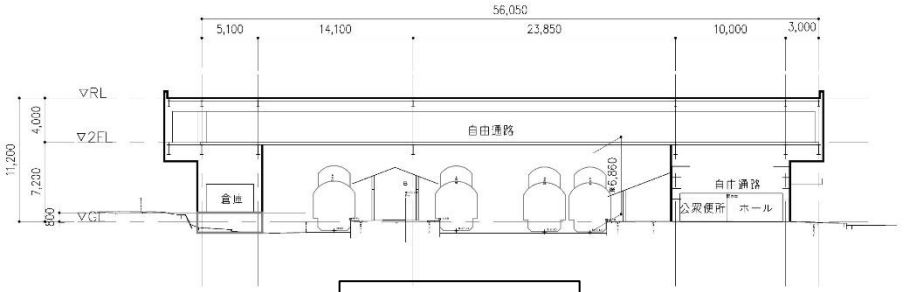
①東側立面図



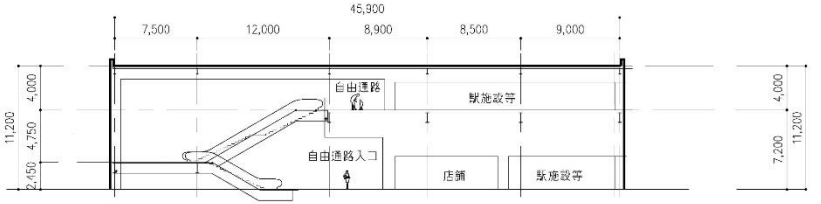
②北側立面図



«半橋上駅（案）断面図»



A線　断面図

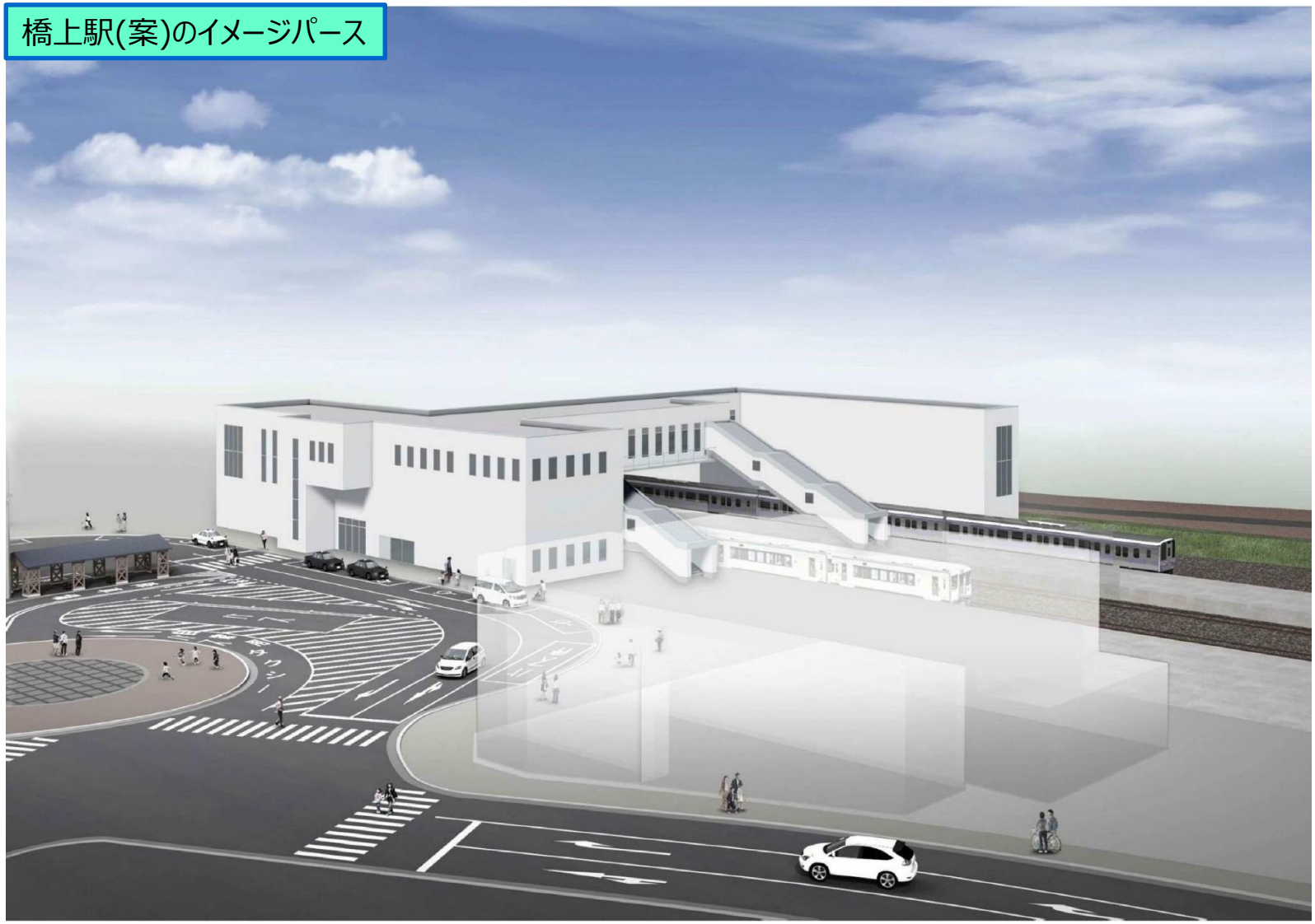


B線　断面図

２．東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

（２）調査結果　整備概要【　**橋上駅**　】

橋上駅(案)のイメージパース



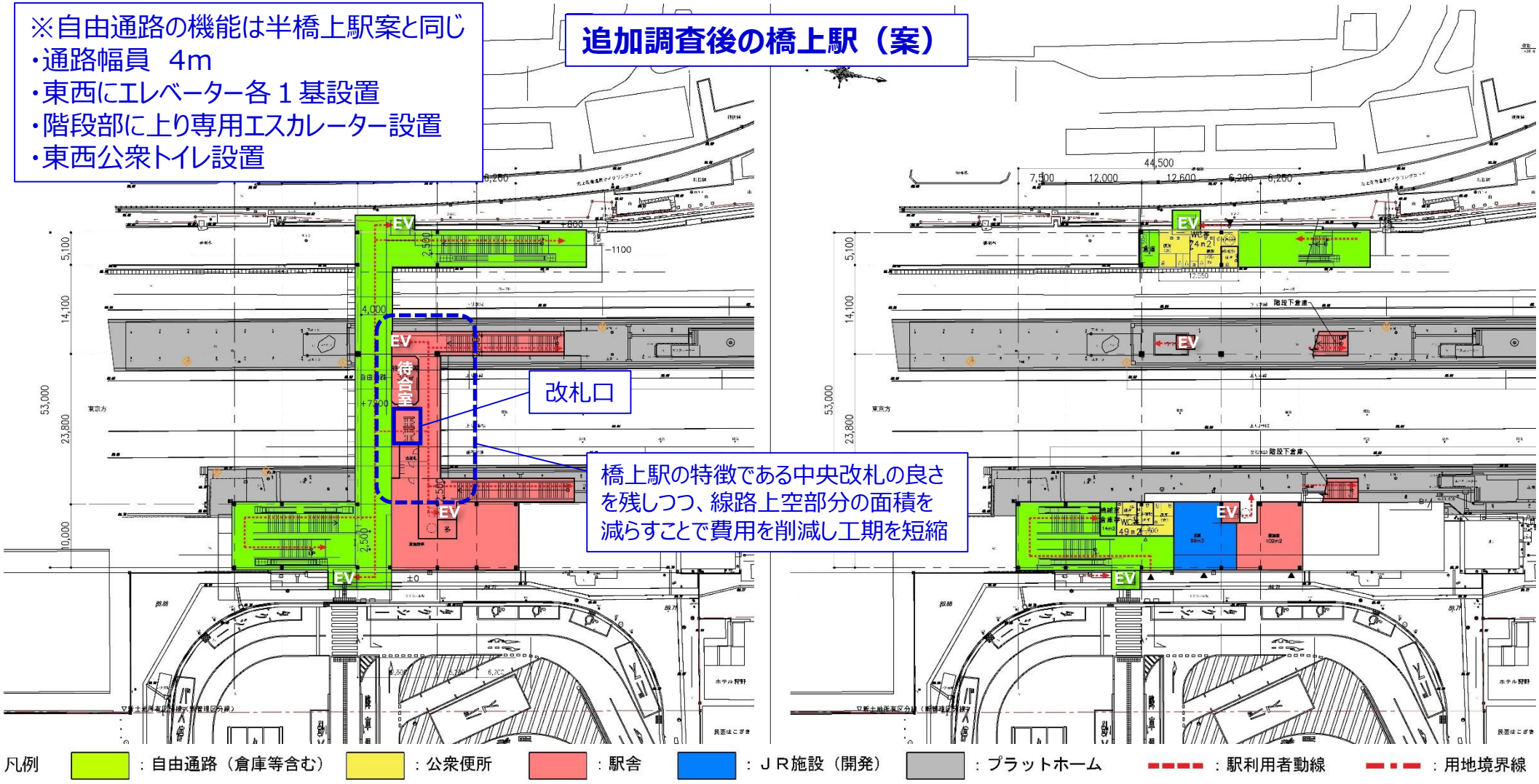
※自由通路及び駅舎の外観デザインについては基本設計段階で検討

２．東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

（２）調査結果　整備概要【　橋上駅　】

※自由通路の機能は半橋上駅案と同じ
・通路幅員　4m
・東西にエレベーター各１基設置
・階段部に上り専用エスカレーター設置
・東西公衆トイレ設置

追加調査後の橋上駅（案）

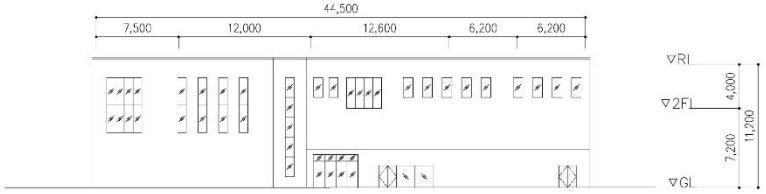


※市の意向により、自由通路東口の階段形状及び自由通路エスカレーター、西口公衆トイレについては今後見直す可能性がある。

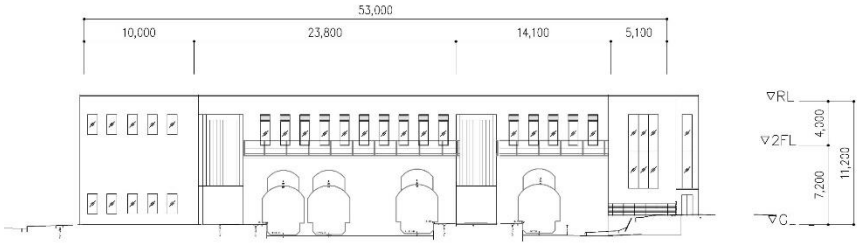
2．東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

（2）調査結果　整備概要【 **橋上駅** 】

«橋上駅（案）立面図»

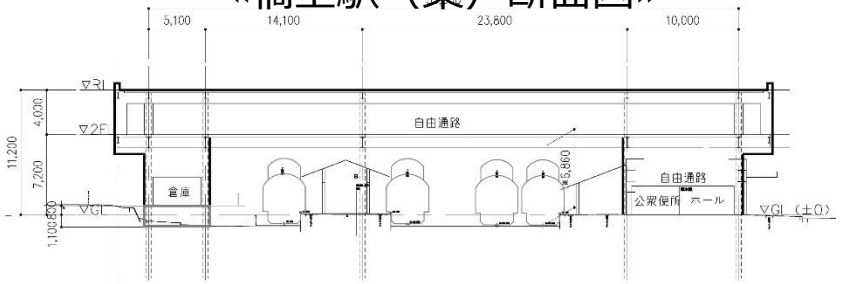


①東側立面図

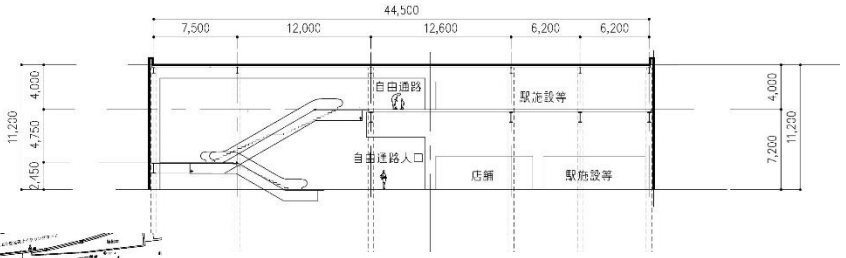


②北側立面図

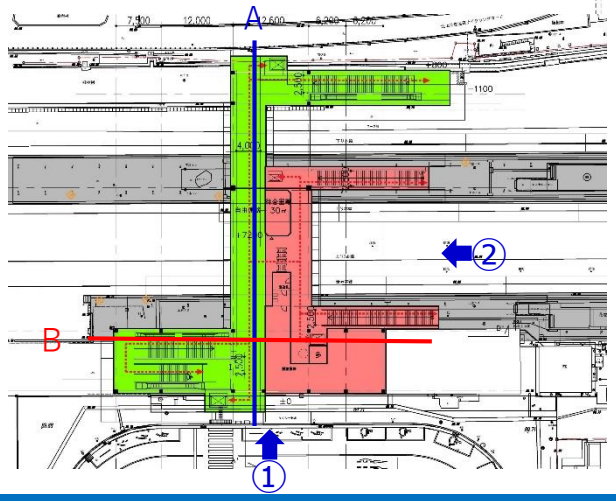
«橋上駅（案）断面図»



A線　断面図



B線　断面図



2．東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

（3）調査結果①-1　概算事業費【 半橋上駅 】

○調査前の半橋上駅(案)との比較（物価変動分を除く）

		R1半橋上駅案（コストダウン案）		追加調査結果（物価変動を除く）		増減比較		
		数量	金額①	数量	金額②	数量	金額(②-①)	増減要因
自由通路	本体	約 740 ㎡	約 7.8 億円	約 834 ㎡	約 8.2 億円	約 94 ㎡	約 0.4 億円	・通路長さ短縮(▲5m) ▲0.3億円 ・杭本数削減(▲2本) ▲0.3億円 ・階段形状変更(＋124㎡) ＋1.0億円
	エレベーター	2 基	約 0.6 億円	2 基	約 0.6 億円	0 基	約 0.0 億円	
	エスカレーター	2 基	約 1.0 億円	3 基	約 0.9 億円	1 基	約 ▲ 0.1 億円	・単価精査 ▲0.1億円
	公衆トイレ	約 60 ㎡	約 0.7 億円	約 122 ㎡	約 1.5 億円	約 62 ㎡	約 0.8 億円	・西口公衆トイレ追加(+62㎡) +0.8億円
	小計	約 800 ㎡	約 10.1 億円	約 956 ㎡	約 11.2 億円	約 156 ㎡	約 1.1 億円	
鉄道施設	本体	約 810 ㎡	約 10.5 億円	約 729 ㎡	約 9.9 億円	約 ▲ 81 ㎡	約 ▲ 0.6 億円	・規模縮減(▲81㎡) ▲0.3億円 ・杭本数削減(▲2本) ▲0.3億円
	エレベーター	2 基	約 0.7 億円	2 基	約 0.5 億円	0 基	約 ▲ 0.2 億円	・単価精査 ▲0.2億円
	エスカレーター	2 基	約 0.8 億円	0 基	0.0 億円	▲ 2 基	約 ▲ 0.8 億円	・駅舎ESC取止め(▲2基) ▲0.8億円
	支障移転	1 式	約 7.0 億円	1 式	約 6.8 億円	0 式	約 ▲ 0.2 億円	・ホーム上屋支障範囲見直し ▲0.2億円
	JR施設(補償分)	約 110 ㎡	約 1.0 億円	約 100 ㎡	約 0.9 億円	約 ▲ 10 ㎡	約 ▲ 0.1 億円	・規模縮減(▲10㎡) ▲0.1億円
	小計	約 920 ㎡	約 20.0 億円	約 829 ㎡	約 18.1 億円	約 ▲ 91 ㎡	約 ▲ 1.9 億円	
基本設計		1 式	約 0.5 億円	1 式	約 0.5 億円	0 式	約 0.0 億円	
実施設計		1 式	約 1.2 億円	1 式	約 1.3 億円	0 式	約 0.1 億円	・階段形状変更・西口トイレ追加 +0.1億円
リスク費		1 式	約 1.7 億円	1 式	約 1.6 億円	0 式	約 ▲ 0.1 億円	・駅舎規模縮減に伴う減 ▲0.1億円
概算事業費合計			**約 33.5 億円**		**約 32.7 億円**		**約 ▲ 0.8 億円**	

※令和元年のコストダウン案の整備費は、調査により精査されたもの。

※青字は増加要因

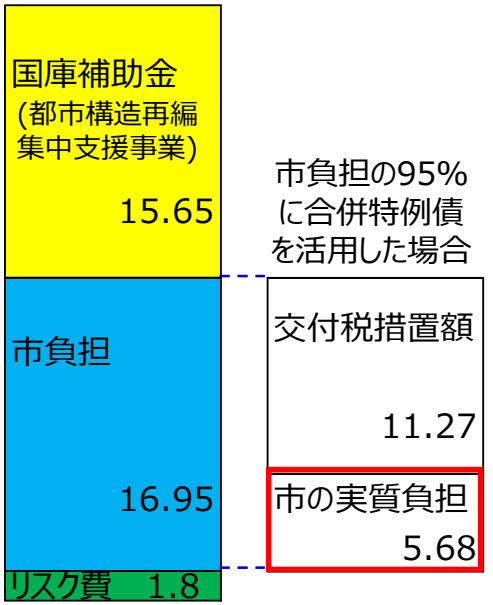
2．東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

（3）調査結果①-2　概算事業費【 半橋上駅 】

		追加調査結果(物価変動を除く) 数量	追加調査結果(物価変動を除く) 金額①	2020年時までの物価変動分 金額②	合計 金額(①+②)
自由通路	本体	約 834 ㎡	約 8.2 億円	約 0.2 億円	約 8.4 億円
	エレベーター	2 基	約 0.6 億円		約 0.6 億円
	エスカレーター	3 基	約 0.9 億円		約 0.9 億円
	公衆トイレ	約 122 ㎡	約 1.5 億円		約 1.5 億円
	小計	約 956 ㎡	約 11.2 億円		約 11.2 億円
鉄道施設	本体	約 729 ㎡	約 9.9 億円	約 0.3 億円	約 10.2 億円
	エレベーター	2 基	約 0.5 億円		約 0.5 億円
	エスカレーター	0 基	0.0 億円		0.0 億円
	支障移転	1 式	約 6.8 億円	約 0.3 億円	約 7.1 億円
	JR施設(補償分)	約 100 ㎡	約 0.9 億円		約 0.9 億円
	小計	約 829 ㎡	約 18.1 億円		約 18.1 億円
基本設計		1 式	約 0.5 億円	約 0.3 億円	約 0.8 億円
実施設計		1 式	約 1.3 億円	約 0.4 億円	約 1.7 億円
リスク費		1 式	約 1.6 億円	約 0.2 億円	約 1.8 億円
概算事業費合計			**約 32.7 億円**	**約 1.7 億円**	**約 34.4 億円**

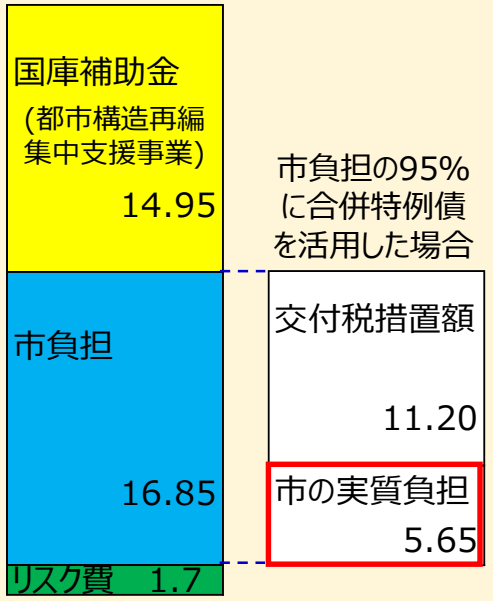
2020年時までの物価変動を加算した概算事業費

約34.4億円



令和元年の半橋上駅案

約33.5億円



※今後の物価変動の状況により整備費は変動となる。2020年時までの変動分+1.7億円を加算すると整備費は34.4億円となる。
※既存ご線橋撤去費約4億円については、既存ご線橋が自由通路整備に支障しないため、整備費用に含めない（JR負担として協議）。
※リスク費は、施工時の地中障害等の不測の事態に備える費用であり、必ずしも発生する費用ではない。
※2020年時までの物価変動分の設計費の増分には設計業務報酬基準の改正(国土交通省告示第98号)の増分を含む。
※令和元年の半橋上駅案と比較し国庫補助額が増えた理由は、公衆トイレについて国との確認協議により補助対象となることが確認できたことから補助対象として計上したため。
※自由通路の東西降下部分の用地については、整備面積確定後に購入する必要がある。

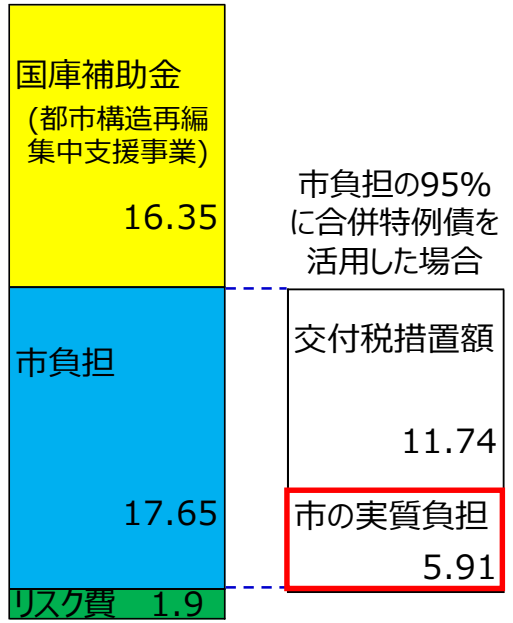
2．東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

（3）調査結果②　概算事業費【 橋上駅 】

		追加調査結果(物価変動を除く) 数量	追加調査結果(物価変動を除く) 金額②	2020年時までの物価変動分 金額	合計 金額(①+②)
自由通路	本体	約 851 ㎡	約 8.5 億円	約 0.4 億円	約 8.9 億円
	エレベーター	2 基	約 0.6 億円		約 0.6 億円
	エスカレーター	3 基	約 0.9 億円		約 0.9 億円
	公衆トイレ	約 123 ㎡	約 1.5 億円		約 1.5 億円
	小計	約 974 ㎡	約 11.5 億円		約 11.5 億円
鉄道施設	本体	約 692 ㎡	約 10.2 億円	約 0.6 億円	約 10.8 億円
	エレベーター	2 基	約 0.5 億円		約 0.5 億円
	エスカレーター	0 基	0.0 億円		0.0 億円
	支障移転	1 式	約 6.9 億円	約 0.5 億円	約 7.4 億円
	JR施設(補償分)	約 99 ㎡	約 0.9 億円		約 0.9 億円
	小計	約 791 ㎡	約 18.5 億円		約 18.5 億円
基本設計		1 式	約 0.5 億円	約 0.3 億円	約 0.8 億円
実施設計		1 式	約 1.3 億円	約 0.4 億円	約 1.7 億円
リスク費		1 式	約 1.7 億円	約 0.2 億円	約 1.9 億円
概算事業費合計			**約 33.5 億円**	**約 2.4 億円**	**約 35.9 億円**

2020年時までの物価変動を加算した概算事業費

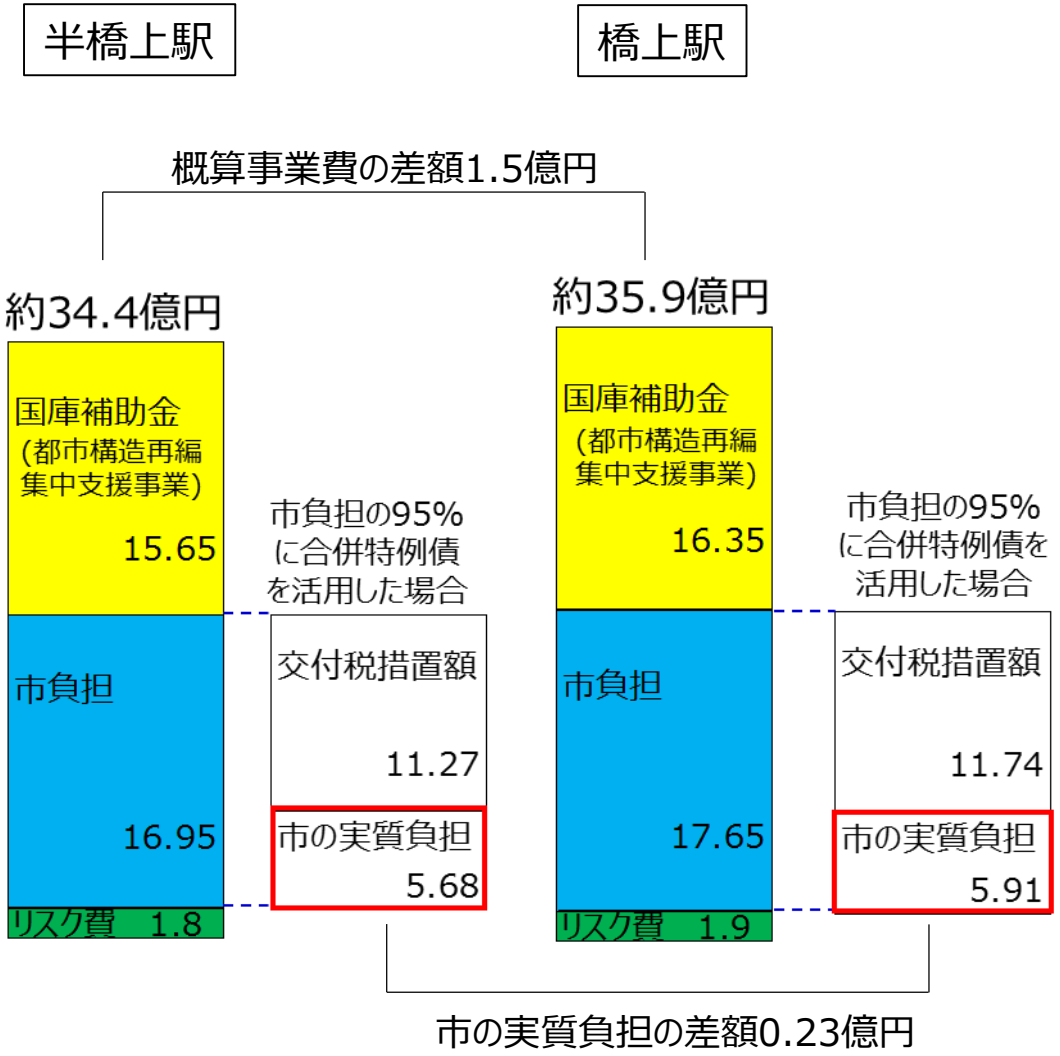
約35.9億円



※今後の物価変動の状況により整備費は変動となる。仮に2020年時までの変動分+2.4億円を加算すると整備費は35.9億円となる。
※既存こ線橋撤去費約4億円については、既存こ線橋が自由通路整備に支障しないため、整備費用に含めない（JR負担として協議）。
※リスク費は、施工時の地中障害等の不測の事態に備える費用であり、必ずしも発生する費用ではない。
※2020年時までの物価変動分の設計費の増分には設計業務報酬基準の改正(国土交通省告示第98号)の増分を含む。
※自由通路の東西降下部分の用地については、整備面積確定後に購入する必要がある。

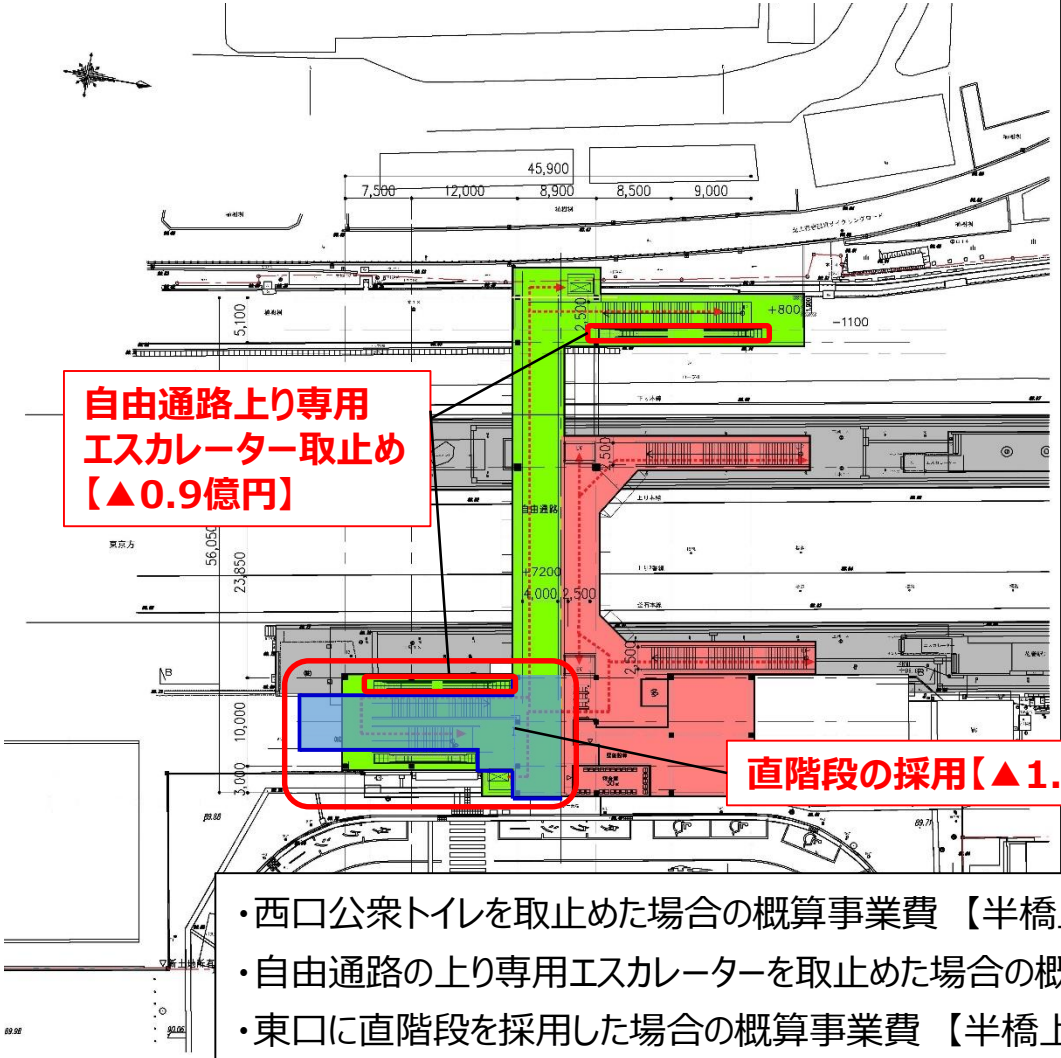
2．東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

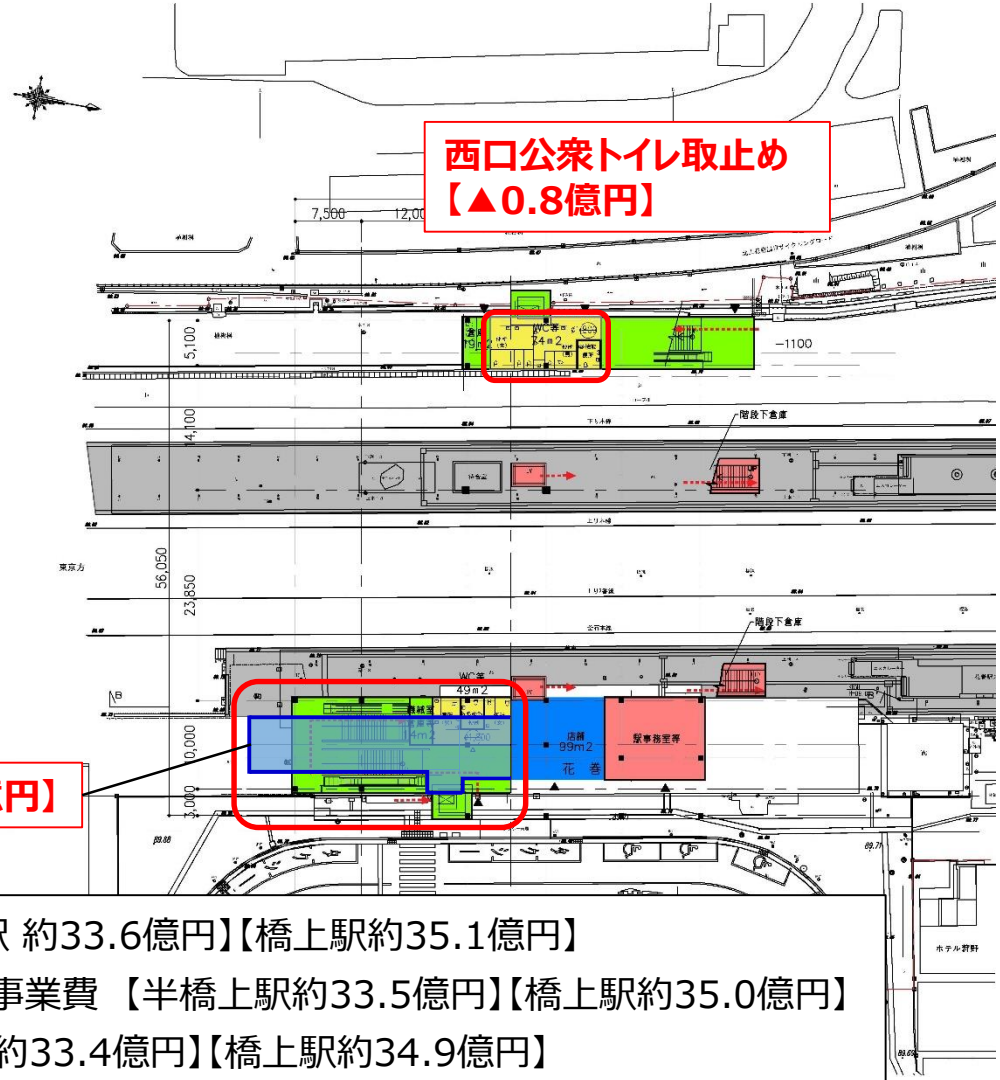
（4）調査結果　半橋上駅　と　橋上駅　の概算事業費比較



2．東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

（５）調査結果　概算事業費縮減オプション





・西口公衆トイレを取止めた場合の概算事業費 【半橋上駅 約33.6億円】【橋上駅約35.1億円】

・自由通路の上り専用エスカレーターを取止めた場合の概算事業費 【半橋上駅約33.5億円】【橋上駅約35.0億円】

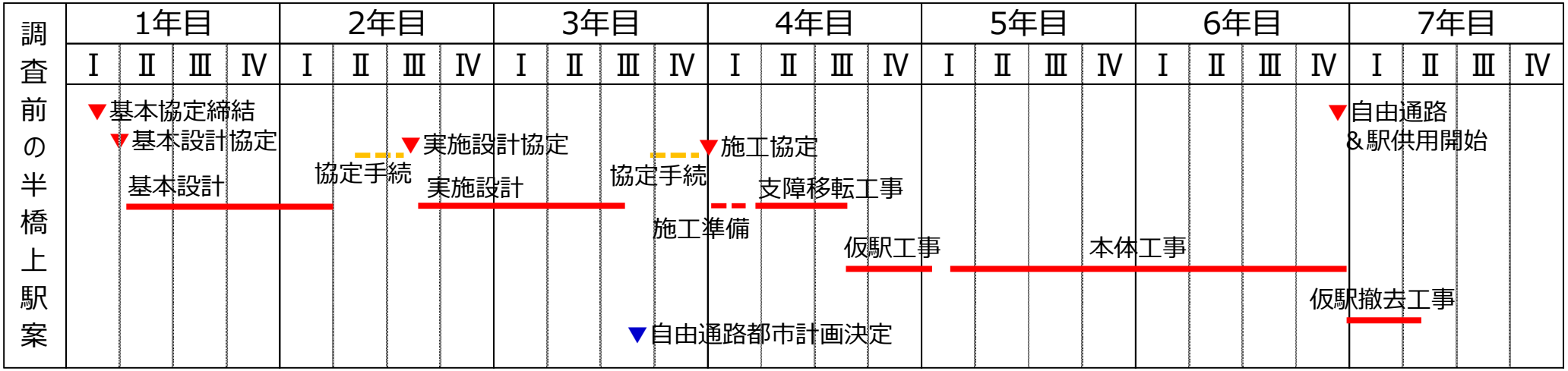
・東口に直階段を採用した場合の概算事業費 【半橋上駅約33.4億円】【橋上駅約34.9億円】

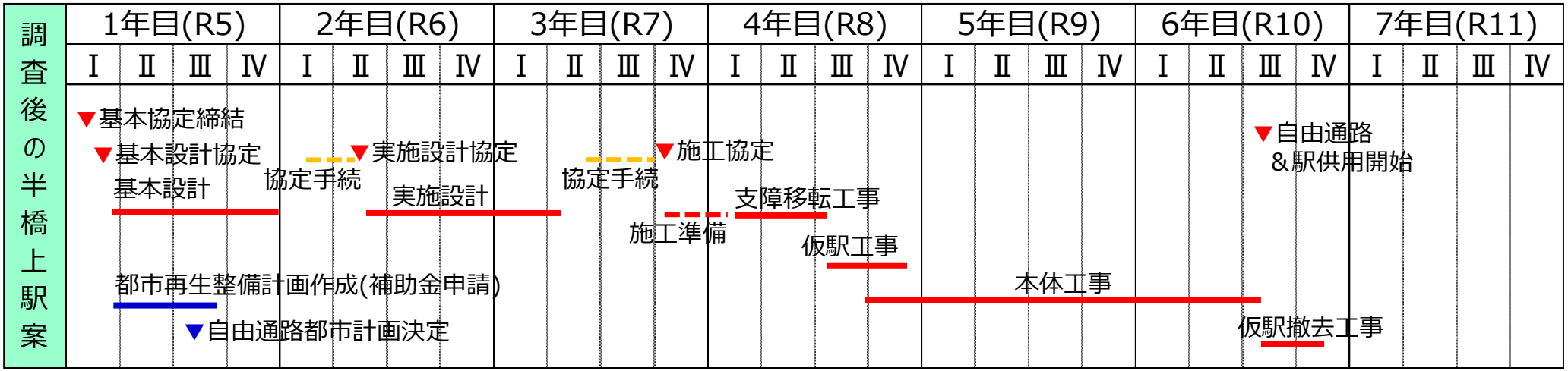
・仮に上記のすべてを縮減を図った場合の概算事業費 【半橋上駅約31.6億円】【橋上駅約33.1億円】

（実施設計費の減約▲0.1億円を含む）

２．東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

（６）調査結果①　完成までの概略スケジュール【 **半橋上駅** 】



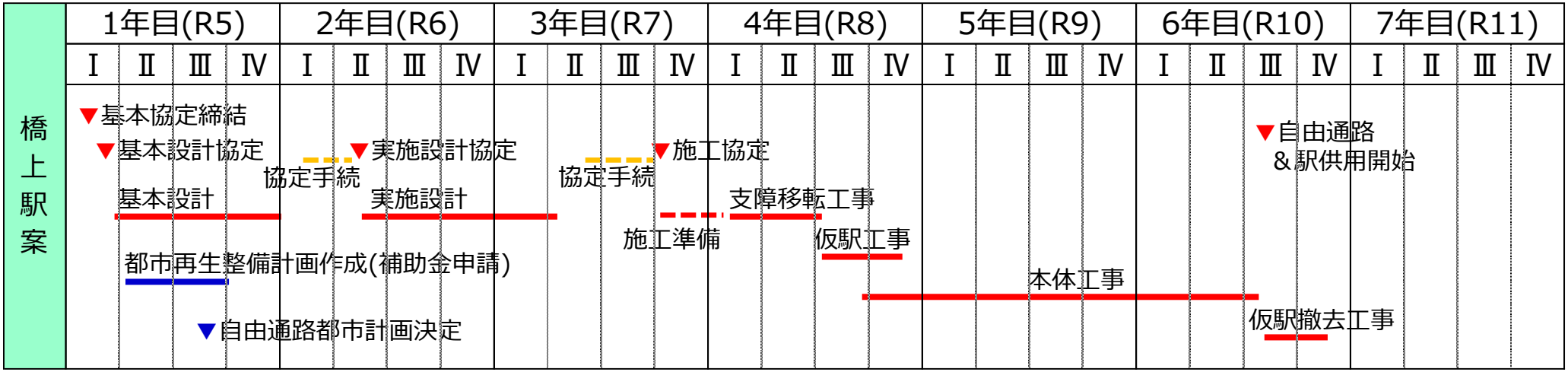


※国の補助金(都市構造再編集中支援事業)を活用するためには、都市再生整備計画を作成する必要があり、計画策定の翌年度から概ね５年以内の計画期間とする必要がある。

※１年目に基本設計と並行して都市再生整備計画を策定することで、実施設計から事業完了まで５年以内に収めることができる。

２．東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

（６）調査結果②　完成までの概略スケジュール【 **橋上駅** 】



※国の補助金(都市構造再編集中支援事業)を活用するためには、都市再生整備計画を作成する必要があり、計画策定の翌年度から概ね５年以内の計画期間とする必要がある。

※１年目に基本設計と並行して都市再生整備計画を策定することで、実施設計から事業完了まで５年以内に収めることができる。

（７）自由通路の維持管理費について

【日常的な維持管理費用（年間費用）】

○「自由通路」は市の施設となり、日常的な維持管理については、市の負担で市が管理。
○JRの駅舎はJRの施設となり、駅舎の維持管理については、JRの負担でJRが管理（市は負担しない）。
○「自由通路」の日常的な清掃や電気代、エレベーター点検費用などの年間維持費用は、**約1,300万円**(うちエスカレーター保守費約220万円)**/年**と試算。
○「自由通路」のエレベーター、エスカレターの点検についても市の施設となるため、市で実施。
※定期点検の結果、更新が必要な場合は、市で更新。（ＪＲ確認済）
※エレベーター・エスカレーターの更新目安：20年
※エレベーター更新費用（2基）約1,200万円/基、エスカレーター更新費用（2基）約2,000万円/基

【長期的な保守・点検】

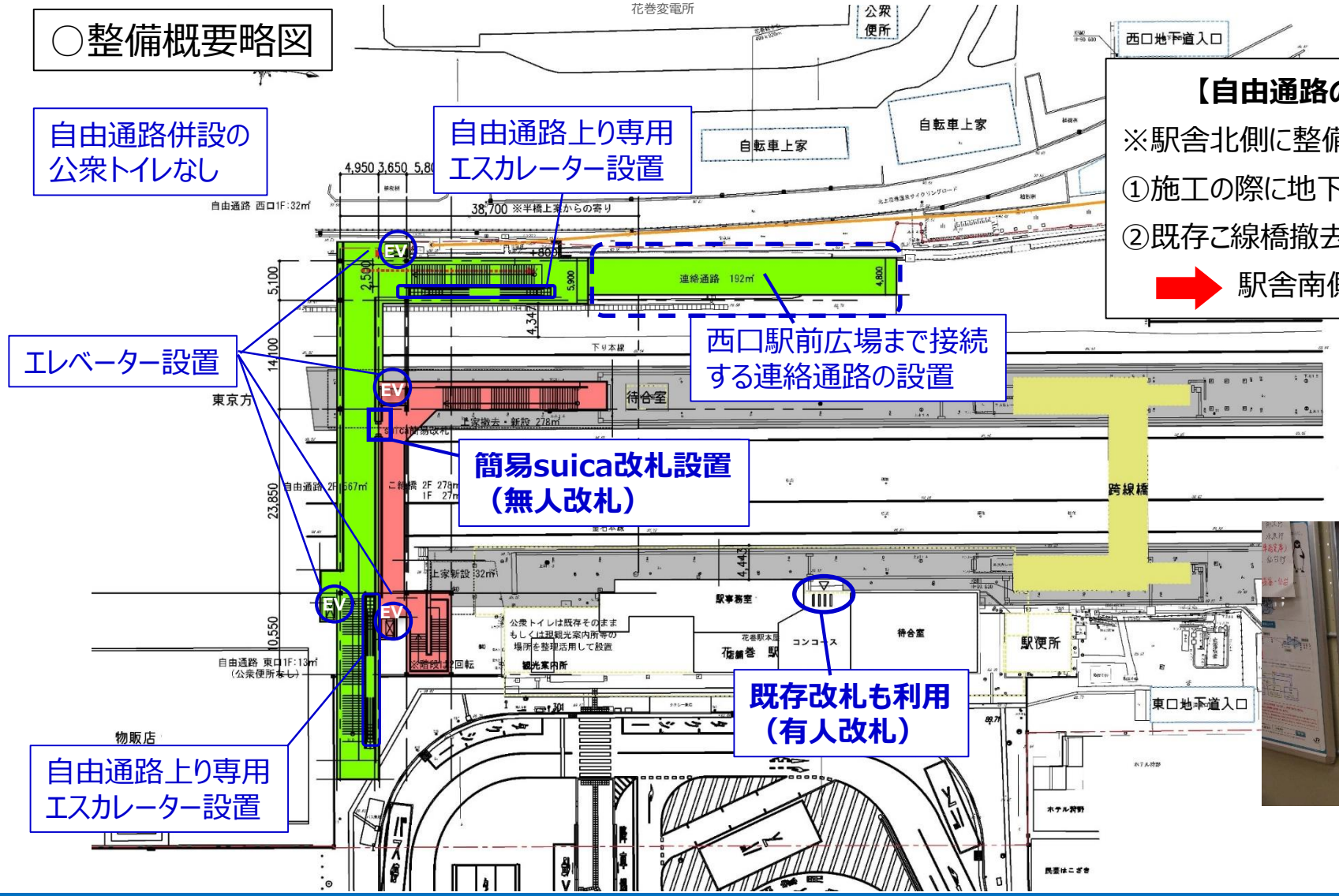
○「自由通路」は、市の施設となり長期的な保守・点検についても市の負担で実施。
○JRの駅舎はJRの施設となり、駅舎の長期的な保守・点検についても、JRの負担でJRが実施（市は負担しない）。
○「自由通路」の点検については、道路法施行規則により５年に１度、近接目視を基本とする点検が義務。
※JRによると、点検方法は線路を跨ぐほかの橋梁と同じであり、当市においても、JR線路を跨ぐ橋梁の点検実績あり。
※点検により把握した損傷、腐食その他の異常については、早期のうちに対応。
※ＪＲによると外壁塗装については、焼き付け塗装を採用。頻繁な塗装は必要とせず、検査の状況により対応。
※現計画の自由通路（点検延長約45m）**５年に１度の点検費用　８,０８５千円**（JR見積もり）

2．東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

（8）【参考】既存駅舎を活用し（残したまま）自由通路を整備する場合

※協定による調査とは別にJR東日本において既存駅舎を活用する場合の案を検討したもの

○整備概要略図



【自由通路の設置位置について】

※駅舎北側に整備する場合

①施工の際に地下道を使用できなくなる

②既存こ線橋撤去及び仮こ線橋設置が必要

➡ 駅舎南側への配置が必要

簡易Suica改札
(写真は平泉駅)

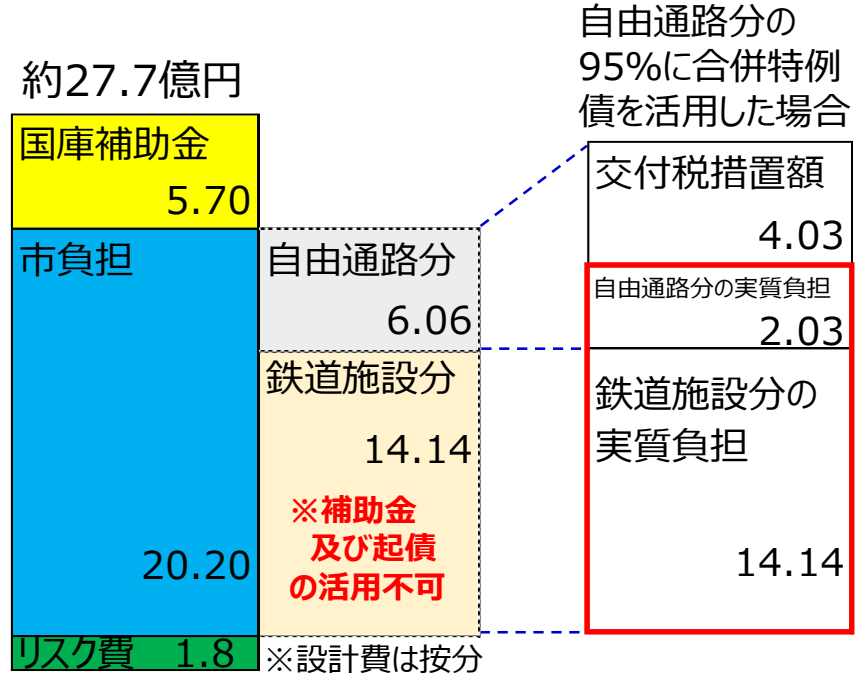
2．東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

（8）【参考】既存駅舎を活用し（残したまま）自由通路を整備する場合

○概算事業費 － 半橋上駅案との比較 －

		半橋上駅案（2020年までの物価変動込み）	既存駅舎活用案（増減試算）	備 考
自由通路	本体	約 8.4 億円	約 ▲1.0 億円	直階段を想定
	エレベーター	約 0.6 億円	－	ほぼ同額を想定
	エスカレーター	約 0.9 億円	－	ほぼ同額を想定
	公衆トイレ	約 1.5 億円	約 ▲1.5 億円	公衆トイレなしを想定
	西口連絡通路		約 1.7 億円	追加(額は想定)
	小計	約 11.4 億円	約 ▲0.8 億円	
鉄道施設	駅舎・こ線橋・支障物	約 17.8 億円	約 ▲4～6 億円	駅舎分差引き
	JR施設(補償分)	約 0.9 億円	約 ▲0.9 億円	取止め
	小計	約 18.7 億円	約 ▲5～7 億円	
基本設計		約 0.8 億円	－	微減程度を想定
実施設計		約 1.7 億円	－	微減程度を想定
リスク費		約 1.8 億円	－	微減程度を想定
概算事業費合計		約 34.4 億円	約 ▲6～8 億円	

各項目の中間値を採用した場合の概算事業費 **約27.7億円**



市の実質負担 **16.17億円(2.03+14.14)**

※国庫補助や起債の対象となるのは、自由通路整備の支障となる施設のみ

※新設するこ線橋は、自由通路整備に支障しない鉄道施設（JR所有施設）であるため国庫補助や起債の対象外

➡ 市の一般財源により対応する必要

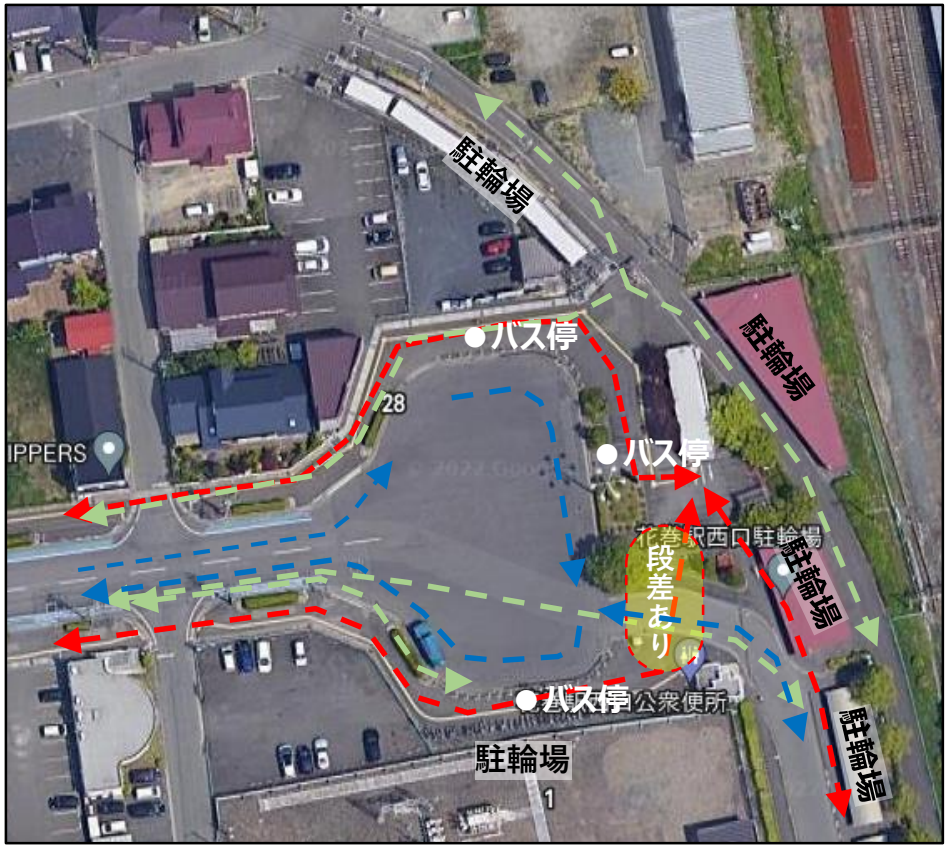
※自由通路分に国庫補助と合併特例債を利用した場合の市の実質負担額は、約16.17億円

３．花巻駅東西駅前広場現況調査等業務の結果について

（１）西口駅前広場に関する現状の課題

現地調査や交通量調査、交通事業者等へのヒヤリング結果等を踏まえ、ＪＲ花巻駅西口広場再整備に関する土地利用や交通機能等について課題を抽出・整理

＜西口広場周辺における利用者の動線＞



--- 歩行者動線　--- 自転車動線　--- 自動車動線

【抽出された課題と対策】

①西口に一般車用の駐車場がない

➡**一般車用の駐車スペースの確保**

②バス停や一般車の停車スペースなど車両動線等が明示されていない

③自転車がロータリー内を通過している

➡**各交通が適正に利用できる空間の整備**

④バス停にベンチや屋根付きの待機所がない

➡**利用者の利便性に配慮した空間の整備が必要**

⑤歩行者動線に点字ブロックがない

⑥段差があるなどバリアフリー化がされていない

➡**誰もが利用しやすいバリアフリー化の推進**

⑦西口から直接駅の改札に行けない

➡**西口における乗り換え機能の確保**

３．花巻駅東西駅前広場現況調査等業務の結果について

（２）西口駅前広場の整備方針の設定について

基本方針１：駅東西の役割を踏まえた交通結節機能の強化

・車両動線や停車スペースの区画線明示や案内表示等による利用者に分かりやすい広場整備
・ロータリー内交通を優先することによる動線（歩行者、自動車、自転車）の交錯解消及び安全性の確保

基本方針２：市民の利便性に配慮した駅前広場空間の構築

・一般車両の滞留スペース整備による朝夕の渋滞解消
・高校生などの利用動線を踏まえた駐輪場整備及び駐輪台数の確保

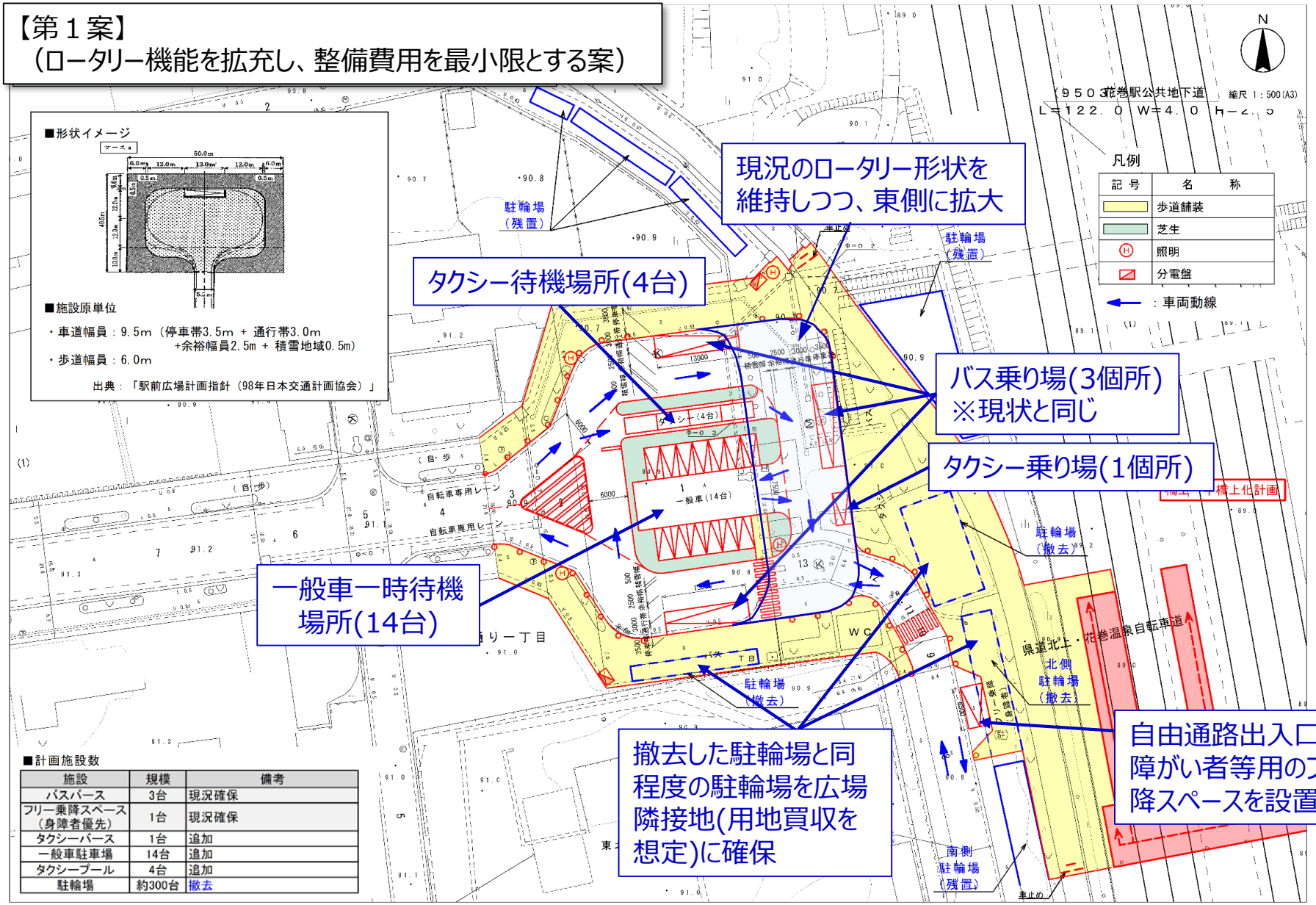
基本方針３：駅前広場の待合・滞留機能の向上

・駐輪場の撤去・移設による、ゆとりのある歩道・広場幅員の確保
・乗換待ちや休憩のための快適なスペースの創出
・悪天候時に利用できる屋根付きの待合・休憩スペースの設置
・段差の解消などによるバリアフリー化の推進

➡ 上記３つの基本方針に基づき、３つ整備案を作成（第１案～第３案）※次ページ以降

３．花巻駅東西駅前広場現況調査等業務の結果について　－３つの整備案－

【第１案】
（ロータリー機能を拡充し、整備費用を最小限とする案）



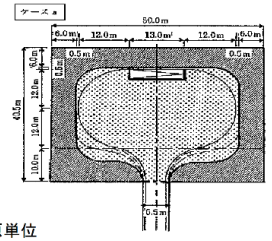
■計画施設数

施設	規模	備考
バスバース	3台	現況確保
フリー乗降スペース（身障者優先）	1台	現況確保
タクシーバース	1台	追加
一般車駐車場	14台	追加
タクシープール	4台	追加
駐輪場	約300台	撤去

3．花巻駅東西駅前広場現況調査等業務の結果について　－３つの整備案－

【第２案】
（ロータリー機能を拡充し、待合機能(屋根)を拡充）

■形状イメージ



■施設原単位

・車道幅員：9.5m（停車帯3.5m ＋ 通行帯3.0m
＋余裕幅員2.5m ＋ 積雪地域0.5m）
・歩道幅員：6.0m

出典：「駅前広場計画指針（98年日本交通計画協会）」

■計画施設数

施設	規模	備考
バスバース	3台	現況確保
フリー乗降スペース（身障者優先）	1台	現況確保
タクシーバース	1台	追加
一般車駐車場	14台	追加
タクシープール	4台	追加
駐輪場	約300台	撤去

現況のロータリー形状を維持しつつ、東側に拡大

タクシー待機場所(4台)

バス乗り場(3個所)

各乗り場に屋根を設置

タクシー乗り場(1個所)

一般車一時待機場所(14台)

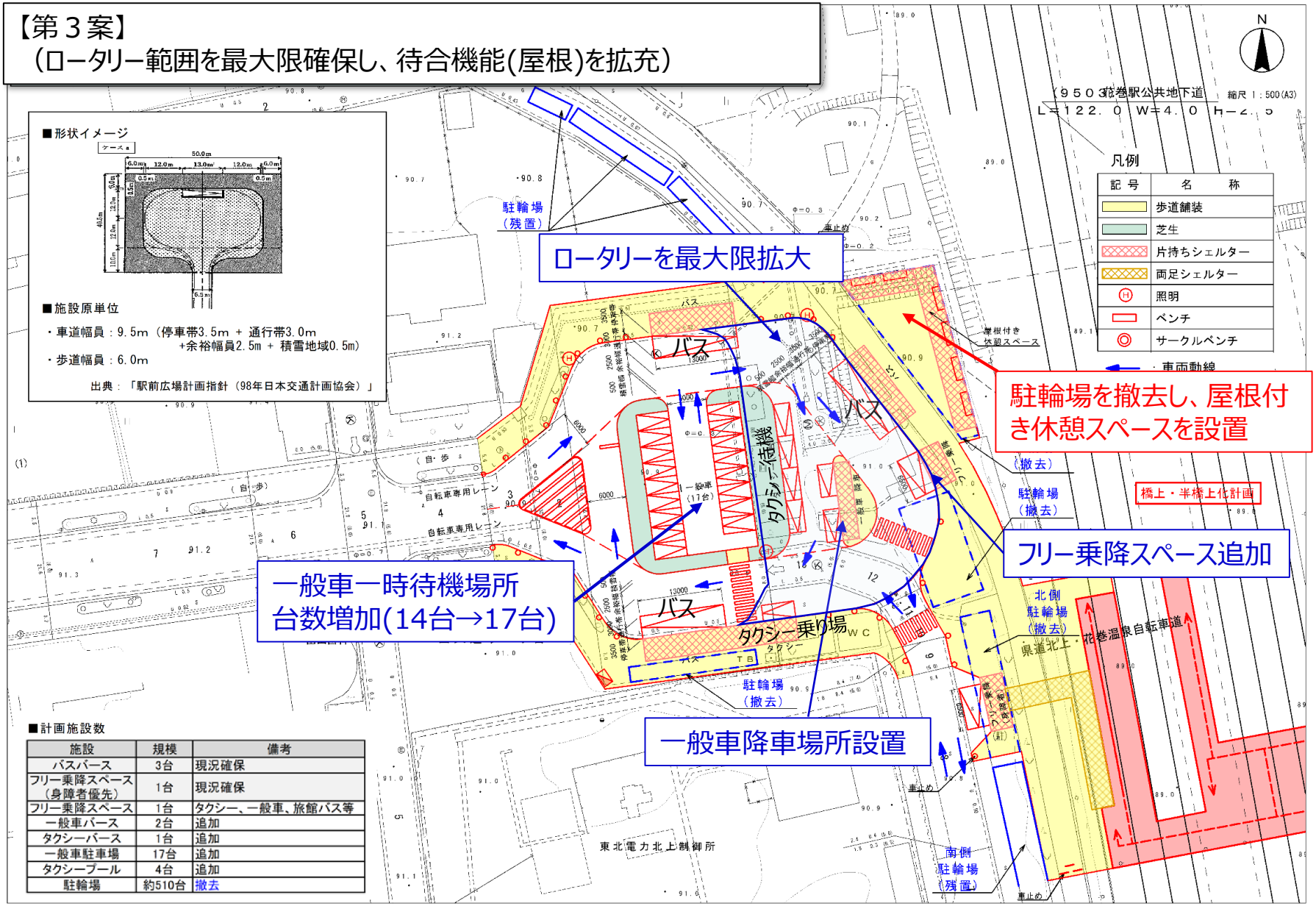
フリー乗降スペースから自由通路エレベーター出入口までの屋根を設置

撤去した駐輪場と同程度の駐輪場を広場隣接地(用地買収を想定)に確保

自由通路出入口近くに障がい者等用のフリー乗降スペースを設置

3．花巻駅東西駅前広場現況調査等業務の結果について　－３つの整備案－

【第３案】
（ロータリー範囲を最大限確保し、待合機能(屋根)を拡充）



３．花巻駅東西駅前広場現況調査等業務の結果について

○西口駅前広場整備の概算整備費

項目	第１案	第２案	第３案
概算工事費	339,917千円	400,576千円	488,222千円
用地費(駐輪場用地)	32,300千円	32,300千円	57,380千円
合　計	372,217千円	432,876千円	545,602千円
メリット	・整備費用が最小	・各乗降場所に屋根付き待合設置 ・フリー乗降スペース(身障者等)から自由通路までの屋根設置	・各乗降場所に屋根付き待合設置 ・フリー乗降スペース(身障者等)から自由通路までの屋根設置 ・一般車降車場所の設置 ・屋根付き休憩場所の設置
デメリット	・各乗降場所に屋根付き待合無し ・フリー乗降スペース(身障者等)から自由通路までの導線に屋根無し ・屋根付き休憩スペース無し ・一般車降車場所無し	・一般車降車場所無し	・広場内の歩行空間が狭い ・駐輪場整備面積が多い ・整備費用が最大

※西口駅前広場整備についても国庫補助金「都市構造再編集中支援事業(補助率1/2)」の活用が可能

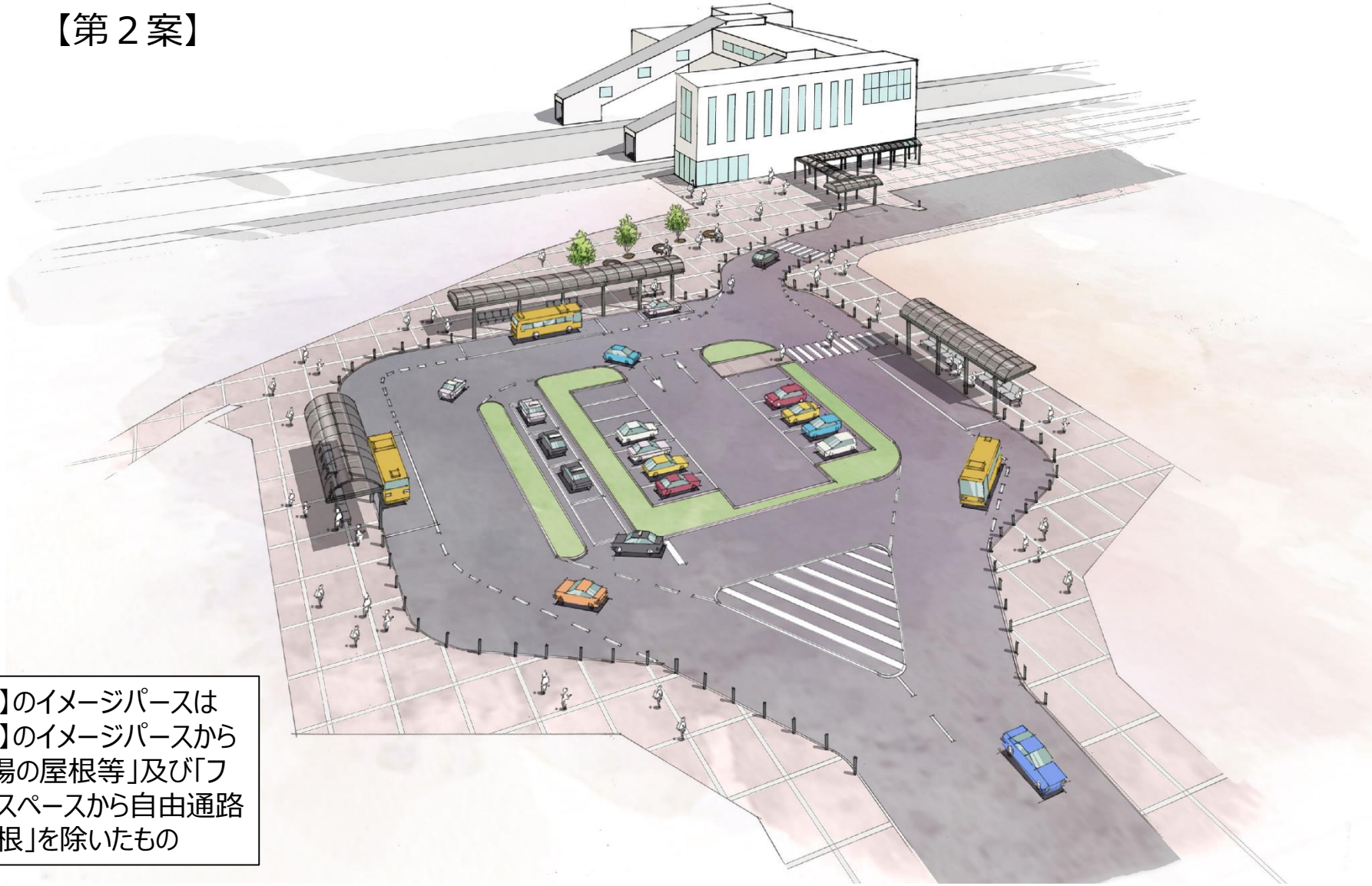
【西口駐車場整備の検討について】

・東口の花巻駅南駐車場（2箇所）は、駅周辺の需要を十分満足している一方、駅西側からの利用者が半数以上という調査結果
・西口駅前広場周辺に少なくとも15台程度の駐車場を整備することで利便性が向上
・駅東口周辺に新図書館が整備される場合は、新図書館利用者が西口の駐車場を利用することも想定し駅西口の駐車場整備について検討
・西口の駐車場整備については民間活力の活用も含めて検討

３．花巻駅東西駅前広場現況調査等業務の結果について

○西口駅前広場の整備イメージパース

【第２案】

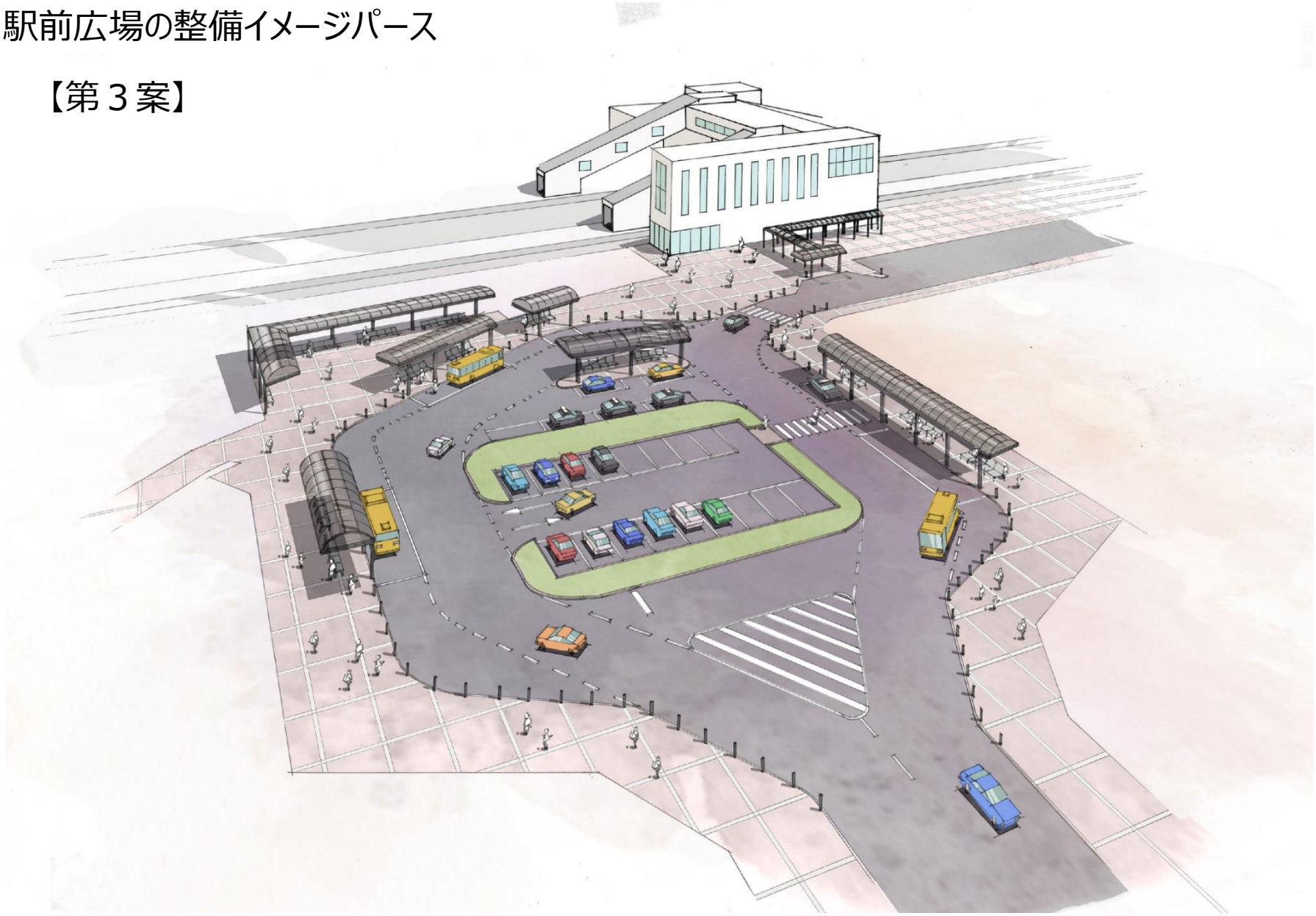


【第１案】のイメージパースは【第２案】のイメージパースから「各乗り場の屋根等」及び「フリー乗降スペースから自由通路までの屋根」を除いたもの

３．花巻駅東西駅前広場現況調査等業務の結果について

○西口駅前広場の整備イメージパース

【第３案】



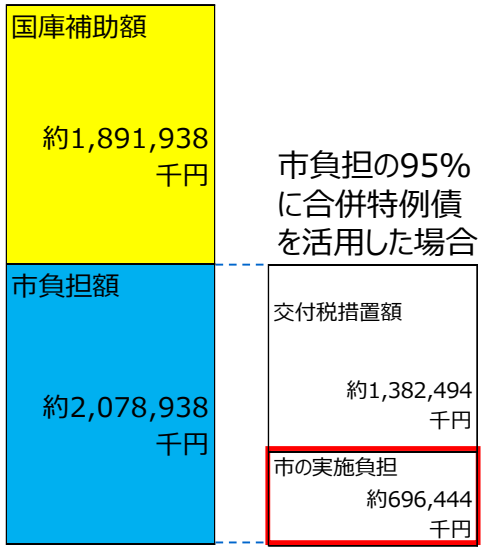
４．全体事業費及び財源の内訳

○全体事業費

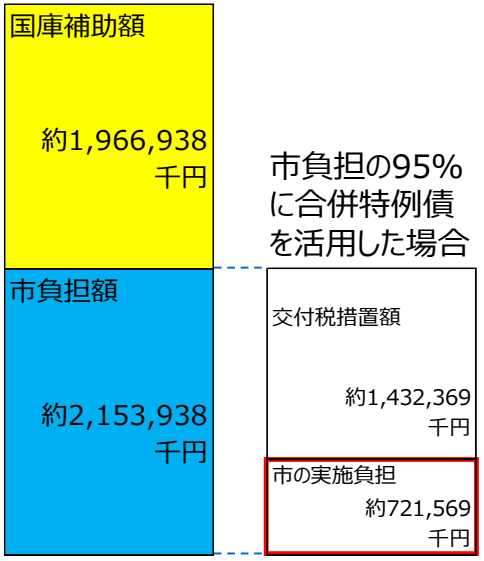
事業	項目	半橋上駅の場合 金額	橋上駅の場合 金額
駅橋上化・東西自由通路（2020年までの物価変動含む）	整備費	約 3,440,000 千円	約 3,590,000 千円
	用地費(東西降下部分)	約 22,000 千円	約 22,000 千円
西口駅前広場整備（第２案の場合）	整備費	約 400,576 千円	約 400,576 千円
	用地費(駐輪場)	約 32,300 千円	約 32,300 千円
西口駐車場整備（15台程度,500㎡想定）	整備費	約 56,000 千円	約 56,000 千円
	用地費(駐車場)	約 20,000 千円	約 20,000 千円
合計		約 3,970,876 千円	約 4,120,876 千円

○自由通路の東西降下部分の用地費は東口折り返し階段の場合を想定（実際の整備面積により変動する）
○西口駐車場整備は、仮に面積500㎡15台程度の整備を想定し試算

半橋上駅の場合



橋上駅の場合



※西口駅前広場整備に国の補助制度「都市構造再編集中支援事業(補助率1/2)」を活用（ただし、駐車場整備の補助率は1/8）
※財源の一部にはまちづくり基金等の基金の活用も検討
※西口駐車場整備には民間活力の活用も検討

５．市民等説明会の開催について

・旧３町を含めた市内全域での市民説明会を開催予定
・調査結果を含めた整備概要を広報及び市ホームページへ掲載
・団体等への説明会も随時開催予定